

## 令和7年度 第2回青少年指導関係運営協議会 会議録

日 時 令和8年2月17日(火)  
午後2時40分から午後3時40分  
場 所 木更津市役所朝日庁舎会議室1-2

出席委員 中島委員(会長)、地曳委員(副会長)、佐久間委員、坂巻委員、丸委員、  
大滝委員、鈴木義信委員、中島委員、鈴木清委員

- 1 開会
- 2 まなび支援センター所長挨拶
- 3 協議
  - ①令和7年度まなび支援センター青少年指導関係活動の報告について
  - ②情報交換

### 〔事務局から説明〕

会に先立ちまして、皆様にご承知願いたいことがあります。

本協議会は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公表されておりますが、本日の傍聴人はありません。また、会議録は木更津市のホームページ上で公開されることとなります。会議中は録音機により会議を録音いたしますのでご承知ください。

それではただ今から、令和7年度第2回木更津市青少年指導関係運営協議会を開催いたします。会議開催にあたり委員14名のうち、9名の出席により会議が成立いたしますことをご報告いたします。

それでは、協議に入ります前に、まなび支援センター難波所長よりご挨拶を申し上げます。

### **所長あいさつ**

#### 〈事務局〉

ありがとうございました。それでは、これより協議に入りたいと思います。

中島会長に座長をお任せいたします。よろしくお願いいたします。

#### 〈中島会長〉

それでは、協議に入ります。

協議事項の①令和7年度木更津市まなび支援センター青少年指導関係活動の報告について、事務局説明願います。

#### 〈所長〉

それでは、私より、まなび支援センターの青少年指導関係活動報告をさせていただきます。

2ページの「まなび支援センター活動報告」をご覧ください。

第1回青少年指導関係運営協議会を6月に開催し、本年度の方針についてご意見をいただきながら活動してまいりました。

まず、青少年子育て相談についてですが、5ページをご覧ください。

1月末現在になりますが、電話相談が48件、来所相談が12件、メール相談が24件ということで、84件の相談を受けております。

相談者は、母親が圧倒的に多く、登校しぶりや、不登校についての相談が全体の半分ほどとなっています。一方で、発達に関する相談はこども発達支援課など、より専門的な相談窓口に寄せられたものと思われます。

相談業務は、早急な判断を求められる場合もありますが、相談者の様子を感じとり、できるだけ話を聞き、気持ちを受け止め、関係諸機関へのつなぎも意識しながら、相談者自身が自らの考えを整理できるよう、配慮しております。

街頭指導については、まなび支援センター所員による青パトでのパトロール、および青少年補導員による地区指導を実施してまいりました。

12月末現在で100回実施し、のべ305名が参加しております。

7月から8月にかけての県下一斉パトロールでは、今年度も中学校区ごとに、地元祭礼や港まつりにあわせて、きめ細やかに実施しました。

また、JR乗車マナー指導は現状に合わせ、乗車はせず、駅周辺の指導と啓発活動に変更しましたが、下校途中の高校生に君津地区の高校の先生方9名・生徒4名と共に声掛けができ、補導員からも概ね好評でした。

子どもたちを見守り、地域犯罪への抑止力となるべく、引き続きパトロール等を実施してまいります。

青少年補導員研修については、第1回は4月の総会時に、「若者が直面する危険な誘いとその反応：未来を守るために」と題し、本協議会の会長でもいらっしゃる、清和大学准教授 中島緑先生にご講演をいただきました。世の中には危険な誘いがあることを聞いた若者当事者はどのような反応をしたのか、日頃から若い学生の皆さんと接する機会が多い中島先生にご講演をいただき、補導員の青少年健全育成活動の参考とさせていただきます。

第2回補導員研修は、児童養護施設「野の花の家」を施設見学させていただきました。社会福祉法人一粒会（いちりゅうかい）の花崎みさを理事長をはじめとした、職員の皆さんの丁寧で温かい関わりを拝見し、参加者一同非常に大きな学びとなりました。

ネットパトロールにつきましては、千葉県の県民生活課で実施しているほか、本市ではまなび支援センターの社会教育指導員を中心にネットパトロールとして学校名等のキーワード検索を行いました。

1月末現在、ニュースレターは2回の発行、出席・参加した会議・研修については3ページ4ページをご覧ください。

以上で報告を終わります。

### 〈中島会長〉

事務局からの説明について、各委員よりご質問・ご意見等をそれぞれお願いしたいと思いません。

### 〈地曳委員〉

P5相談活動の件で質問です。6、7月の相談件数が多くなっています。他の月の倍くらいの件数があります。なぜでしょうか？また、例年も同様ですか？

〈まなび支援センター所長〉

まなび支援センターでは、小中学生と公民館などに相談電話の番号を記載した相談カードを配布しています。配布した直後は相談件数が多くなる傾向があります。また、今年度は相談カードをリニューアルしました。水色とピンク色の優しい色のカードにしましたので、特に目立ったものと思われま

〈鈴木清委員〉

不登校の相談が多いという事ですが、相談した子はそのあとどうなっているのですか？

〈まなび支援センター所長〉

その後は連絡がこないのかわからないのです。こちらの感覚としては、こどもが2、3日学校を休んで不安になった親御さんからの相談が多いように感じています。1、2週間や1、2ヶ月登校していない状況ではないので、そういった親御さんには、「学校とお話しできますか？」と聞き、担任の先生が話しづらければ管理職の先生などとお話しし、これからなにができるのかを一緒に話し合う事をアドバイスしています。その後の電話はないので追跡できていませんが、ごくたまに「行けるようになりました」という嬉しい電話をくださる方もいます。

〈鈴木清委員〉

高校生の相談は少ないですね。

〈まなび支援センター所長〉

そうですね。高校生からの相談は少ないです。

〈佐久間委員〉

私は中学校の教員ですが、小学生の不登校が増えたと聞いていますがどうですか？

〈まなび支援センター所長〉

低年齢化していると感じています。まなび支援センター内に設置している教育支援教室のあさひ学級もそうで、学年が低くなっています。数年前まで中学生メインでしたがだんだん小学生が増えています。

〈中島会長〉

はい、ありがとうございました。

それでは、他にご意見等無いようですので、次の協議にうつります。

協議事項の②情報交換です。委員の皆様は各団体の代表で出席いただいておりますけれど、青少年の現状について、各委員のお立場ですとか、日々の活動の中で気になったことなどを順番にお話いただければと思います。

佐久間先生からお願いいたします。よろしく申し上げます。

〈佐久間委員〉

本日と明日は公立高校の入試日で、本校も受験する生徒が多数います。インフルエンザ

が流行っている時期ですが、不思議なことに中学3年生はかからないように感じています。本人が気を張っているからではないかと思っています。

栃木や大分などのいじめのニュースが広まっていますが、あれは本当にひどいですね。テレビではモザイクがかかっていますが、SNSではそのまま顔が出てしまっています。他人事ではなく、どこの学校でもありうると考えています。本校は毎月いじめアンケートをしています。そうすることで、早期発見・早期解消ができると考えています。本校は8時10分から打ち合わせをしていましたが、その時間が「隙間時間」となってしまうので、朝の打ち合わせをやめてみました。朝の打ち合わせは、校務システムを利用してデジタルで行っています。モラル教育を1年に一回おこなっていますが、もっと重要ではないかと考えています。

#### 〈坂巻委員〉

高等学校に寄せられるお叱りの言葉は、たくさんありますが、今年度「木更津駅の歩道を歩いていると恐怖を感じる」というものがありました。歩道を横に広がって歩いていて対面するという事です。これは、本校だけでなく他の学校にも届いているお叱りのようです。生徒たちは、相手の事を思い合うという気持ちが欠如していると感じる場面がいくつかあります。JRの乗車指導を年10回程度行いますが今の子どもたちはスマホを使用していて基本的には静かです。ただ複数人になると大きい声で話すなど、うるさくなってしまう状況がありました。周りの方に迷惑だという事に気づかない。もう少し周りを見て迷惑していないかを気遣ってほしいと思います。今年の4月から、自転車運転で違反した場合も反則金の対象となります。他者を思いやるが必要だと指導していますが、自分を守るという観点でも話が必要だと考えています。

人間関係構築が苦手な子どもが多いと感じています。本校では毎朝全職員が交替で声掛けの指導をしています。おはようございますという本当に簡単な会話のキャッチボールが苦手な子どもが非常に多いと感じています。

#### 〈鈴木清委員〉

子ども会の関係で先週チャレラン大会を実施しました。選挙の関係などで参加者が減り、38名参加でした。現状の子ども会の悩みとして、来年度から子ども会をやめたいという子ども会があります。木更津市の小学生は六千人くらいいますが、子ども会に加入しているのは400人くらいです。市内の小学校は18校ありますが、そのうち5学区にしか子ども会がなく、子ども会加入者がすごく少ない状況です。親が役員をやりたくない場合が多いと感じています。親はイベントには参加させたいけど役員はやりたくないという事だと思います。昔のようにおせっかいをする人が少なく、考え方が変わってきています。子ども会のあり方が変わってきていると感じ生涯学習課とも相談しています。

#### 〈丸委員〉

今年度から子ども家庭支援課となりました。業務内容として、相談の受付も担当しています。経済的な困窮の相談や地域での孤立により子どもに向き合うことができない親御さんが多いように感じています。ネットでの情報発信の方が若者には届く現状があるので、周知を検討する必要を感じています。ヤングケアラーについて知識普及を考えています。

### 〈中島委員〉

子ども会と同じように、PTAの活動も新型コロナの影響で一旦縮小した活動を復活させるのが難しいと感じています。学校がお勉強だけでなくこどもの居場所づくりになるのではないかと、先日の研修で学びました。お母さん方の交流を通し、きっかけを提供できたらいいなと考えています。

### 〈鈴木義信委員〉

先ほどの子ども会の話ですが、自身の小学生の孫を見ていて思う事があります。土日は、塾だ、習い事だと言って、振り回されているように見えます。もう疲弊してしまっているというか、とても子ども会の活動はできないだろうな、という状況もあるように思いました。

警察ボランティアの話ですが、11月29日に太田中学校でタッチヤングを実施しました。警察の職員も含めて、生徒とスポーツをするのですが、非常に盛り上がりました。今までコロナの影響があり飲食は控えていたのですが、今年はフランクフルトと焼きそばを提供できました。

それから、毎月2回、木更津駅と袖ヶ浦駅でパトロールを実施しています。子どもたちにはあまり会いませんが、素行の悪い子はいない印象です。

### 〈大滝委員〉

先ほどお話のあった、「おせっかいの集団」ともいえる民生委員です。運動会を見てほしいと言われれば行くし、卒業式・入学式も呼ばれば行きます。登下校の立哨指導をしている地区もあります。福祉ボランティア（障がい者疑似体験とか）やパトロールをしている地域もある。福祉ボランティアに行くと、子どもたちは礼儀正しいと感じます。地域の交流の場を作っていると思います。中島委員さんのお話を聞いて、PTAとも交流出来たらいいと思いました。

### 〈地曳委員〉

先ほど鈴木義信委員からお話のあったタッチヤングについてですが、私が二十数年前にPTA役員をしていた時にちょうど子どもの学校でタッチヤングがあって参加しました。子どもたち以上に親が盛り上がり楽しかったです。

先ほどの難波所長の話と重複しますが、青少年補導員は67名で活動をしています。各中学校区で行われている地区指導の12月末現在の実績は79回、延べ参加者数は231名です、特に問題行動のある青少年は見受けられませんでした。たまに公園で青少年を見かけた時には、「早めに気を付けて帰ってね」「自転車は必ず点灯してね」などの声をかけています。県下一斉広域列車パトロールでは下校途中の高校生に啓発物資500個の配付をしました。特筆すべきは、今年度は現役高校生ときさポンにも参加していただき、注目度が高くなりました。予定よりも早く啓発物資の配付が終わりました。当日参加の高校生にコメントをいただきましたが、大変前向きな素晴らしい感想を述べていただきました。来年度以降もぜひ高校生にも参加していただき、啓発運動をしていきたいと考えております。先ほど、坂巻委員からのお話のとおり自転車の交通反則通告制度に関し、令和8年度に千葉県青少年補導員連絡協議会が啓発リーフレットを作成することとなりました。

今後、地区指導や街頭キャンペーンなどでそのリーフレットを配布して交通安全指導に務めていきます。本日の資料で、ニュースレターが配付されていますが、活動内容も記録していますので、後ほどご覧いただければと思います。

#### 〈中島会長〉

ただいまいろいろな方のお話を聞いて、教育や子育てがすごくサービス化していると感じました。イベントをやってくれるなら参加したいけど、自分はやりたくないという思想の保護者の増加に伴い、だんだんと地域で頑張っていくところが難しくなってきました。そのまま育った子どもが将来的に地域から離れてしまう事は想像できます。私たちは保育士を育てていますが、子どもを楽しませることで保育や教育のスキルが向上するように勘違いしている学生も多いのではないかと思います。サービスを受けるだけでなく、自分で面白いところを発見させることも本当は大切なのに、と考えます。私も今一度学生さんたちと一緒に考えたいと思っていますところであります。私の短大は、令和8年の4月から、コースを選べば、小学校二種と特別支援の二種を取得できるようになります。今の学生たちは、新型コロナウイルスのせいで圧倒的に経験が少ない子たちです。自分が住んでいるエリアから外に行くとか、旅行に行つて他の物を見たりとか、そういう事よりもネットで色々を見て経験した気持ちになってしまう事が多いと思います。そういった学生さんが今後子どもを育てる仕事をするという事を考えると、もう少し短大での教育自体も学生の経験を増やせるようにと考えます。勉強や理論だけでなくマナーや心遣いができる学生を育てることが大事だと感じています。

#### 〈中島会長〉

他に補足や質問などありますでしょうか。

#### 〈大滝委員〉

中島会長の経験のお話で思い出したのですが、請西でお祭りをすると普段見かけないような子もたくさん出てきます。その子たちと長距離を歩くのですが、こどもの中で、暑くてどうしたらいいかと考え、私の救護車両に乗ってくる子がいます。それも一つの知恵だと思います。市内にも色々な経験をさせてくれる保育園があるそうですが、月曜日はスイミング・火曜日は英語、などのように教育を取り入れている園に、保護者の申し込みが殺到するとか。やはり大人がそういうサービスを受けたいからそこに申込んでいると思います。遊びの中から学ぶとかちょっと汚い思いや痛い思いをしても重要だと思いますよね。経験は本当に大切ですよ。

#### 〈中島会長〉

それでは他にご意見等はありませんでしょうか。共有しておきたいことなど、よろしいでしょうか。

時間の制限もございますので、事務局へお返しして、私の方は終わりにします。

#### 〈事務局〉

ありがとうございました。

貴重なご意見等ありがとうございました。委員の皆様方のご意見等を参考にしながら、

まなび支援センターの事業を進めてまいりたいと思います。

次回、令和8年度 第1回の青少年指導関係運営協議会は令和8年6月15日(月曜日)に予定しております。来年度は委嘱の年でもありますので、引継ぎ等の際には次期の方にお伝え頂きたいと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして、本日の会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。